

別添 1

まちづくりアンケート集計結果

丸亀市・綾歌町・飯山町合併協議会

目次

1 . 調査概要	1
(1) アンケート調査の目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査方法	1
(4) アンケートの配布回収状況	2
(5) 回答者の属性	2
2 . 調査結果の概要	3
(1) 全体像	3
(2) 調査結果のポイント	4
(3) 合併への期待	12
(4) 合併に対する不安	17
(5) 新市の将来像	22
(6) 新市の重点施策	27
(7) 合併に関する自由意見	34

1. 調査概要

(1) アンケート調査の目的

本調査の目的は、「新市建設計画」に向けて住民の声を集約するとともに、調査を通じて住民の当事者意識を醸成し、「新市建設計画」に対するコンセンサス形成を行うことにある。本調査の結果は、「新市建設計画」の基礎検討資料として活用される。

(2) 調査項目

本調査では、合併への期待（メリット）と不安（デメリット）について住民の意向を確認するとともに、今後の地域づくり（新市建設計画）における方向性や重視すべき施策などについて把握する。

具体的な調査項目は以下の通り。回答者の基本属性を除くと、設問は全5問である。

1) 基本属性
居住地（市町別）
性別
年齢
2) 合併への期待と不安
合併への期待
合併に対する不安
3) 新市の将来
新市の将来像
新市の重点施策
4) 合併に関する自由回答

(3) 調査方法

1市2町在住の全世帯に対するアンケートを実施する。この調査方法には、経費を抑える中で基本的に全世帯の意向を把握でき、世帯の中で回答者を確保できることから回収率が高くなるというメリットがある。

(4) アンケートの配布回収状況

アンケートの有効回答数は、18,869 であった (有効回答率 45.25%)。

アンケートの総配布数は 42,090 であったが、配達不能が 390 あったため、実際の配布数は 41,700 である。

回収されたアンケート票は 19,005 であったが、白紙回答が 136 あったため、有効回答数は 18,869 である。

有効回答率は、 $18869 \div 41700 = 45.25\%$ である。

表 アンケートの配布回収状況

総配布数	42,090
実際の配布数	41,700
回収数	19,005
回収率	45.58%
有効回答数	18,869
有効回答率	45.25%

(5) 回答者の属性

有効回答における回答者の属性は、下記表の通り。

表 回答者の属性

	丸亀市	綾歌町	飯山町	居住地不明	計
全体	13,577	1,941	3,219	132	18,869
男性	5,715	865	1,398	10	7,988
18～29歳	346	39	74	1	460
30歳代	649	73	140	1	863
40歳代	917	149	197	0	1,263
50歳代	1,443	235	443	0	2,121
60歳代	1,272	222	335	2	1,831
70歳以上	1,085	147	207	6	1,445
年齢不明	3	0	2	0	5
女性	7,847	1,072	1,818	9	10,746
18～29歳	499	28	84	0	611
30歳代	1,136	115	226	2	1,479
40歳代	1,277	184	284	0	1,745
50歳代	1,784	288	486	0	2,558
60歳代	1,552	231	439	2	2,224
70歳以上	1,591	226	299	5	2,121
年齢不明	8	0	0	0	8
性別不明	15	4	3	113	135

2. 調査結果の概要

(1) 全体像

問 ~ までの回答結果は、下記表の通り。

表 問 ~ の回答結果一覧表

問 : 居住地	丸亀市	綾歌町	飯山町	市町不明	計
実数値(人)	13,577	1,941	3,219	132	18,869

問 : 性別	男性	女性	男女不明	計
実数値(人)	7,988	10,746	135	18,869

問 : 年齢	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明	計
実数値(人)	1,071	2,346	3,009	4,680	4,066	3,576	121	18,869

問 : 合併への期待	職員数や議員数を削減することができ、行政運営の効率化が図れる	少子高齢化社会に対応した行政サービスの提供ができる	財政規模が大きくなり、これまで以上に魅力ある事業ができる	公共施設を有効に活用し、相互に利用できる	広い地域で魅力ある祭りや行事などが開催できる	地域が連携し一体化することにより、観光や交流の活性化が図れる	広域的な視点に立った効率的なまちづくりができる	大きい都市になると知名度が上がる	生活の実態にあった区域の設定ができる	その他	無回答
実数値(人)	13,397	5,820	5,072	6,651	2,255	4,062	5,214	1,334	2,175	503	606

問 : 合併に対する不安	地域に密着した行政サービスが受けられなくなるのではないだろうか	役所が遠くなり、不便になるのではないだろうか	市や町の区域が広がり、地域の声が行政に反映されにくくなるのではないだろうか	合併後、中心部だけが発展し、周辺部がさびれるのではないだろうか	いろいろな公共施設が整備・統合されるのではないだろうか	慣れ親しんだ市や町の名称がなくなるかもしれない	昔から伝わってきた文化や伝統などの地域の特色がなくなるのではないだろうか	その他	とくに不安はない	無回答
実数値(人)	7,370	6,666	8,411	5,484	3,517	4,653	3,244	701	2,093	378

問 : 新市の将来像	自然環境の保全と活用	都市基盤の整備	生活環境の整備	保健・医療と福祉の充実	教育・文化の振興	産業の振興	コミュニティの推進	行財政の効率化	その他	無回答
実数値(人)	7,943	4,374	8,709	11,347	4,388	2,820	1,872	7,842	338	457

問 : 重点施策	自然環境を保持	河川を良くする	森や林を維持・活用する	道路を整備する	公共交通機関を充実する	市街地を整備する	水の確保に努める	下水道を整備する	港を整備する	住む環境を整備する	公園や緑を整備する
実数値(人)	5,353	1,922	1,434	2,269	4,216	1,212	2,668	2,951	139	3,138	2,210
	ごみの減量化などに取り組む	離島の振興に努める	災害の発生に備える	情報化に対応する	医療サービスを充実する	高齢者の福祉施策を充実する	障害者の自立などを支援する	保育など子育てを支援する	介護保険の充実に努める	生涯学習を推進する	学校の教育を充実する
実数値(人)	3,163	433	2,217	977	7,005	6,912	1,392	3,658	4,439	1,393	2,886
	文化活動の振興に努める	スポーツの振興に努める	農業・林業・漁業を振興する	商業を振興する	工業を振興する	観光やレクリエーションに力を入れる	雇用の場の確保に努める	コミュニティ施設を充実する	情報の公開に努める	ボランティアなどを支援する	国際化へ対応する
実数値(人)	933	766	1,454	1,213	664	963	4,747	983	2,212	626	311
	男女共同参画に取り組む	人権対策を推進する	市役所の効率化に取り組む	無回答							
実数値(人)	314	248	6,814	558							

注：問 ~ は、複数回答（3つまで）のため、合計値は18,869人にはならない。

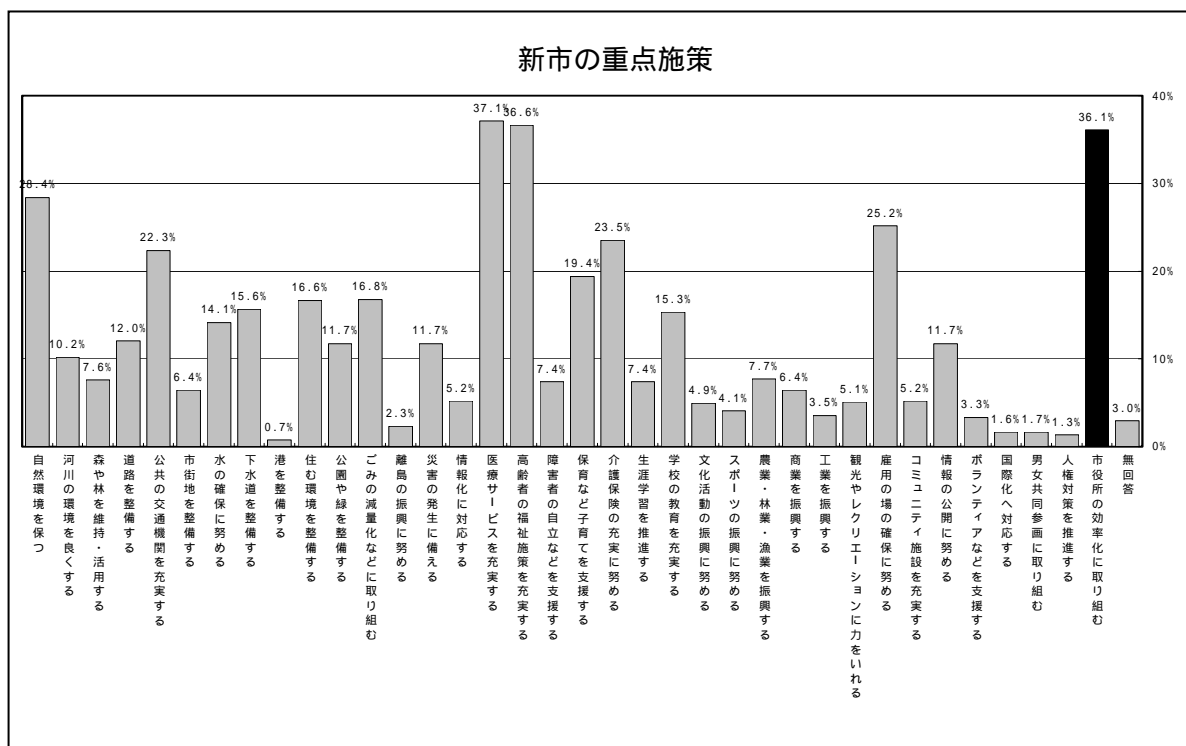
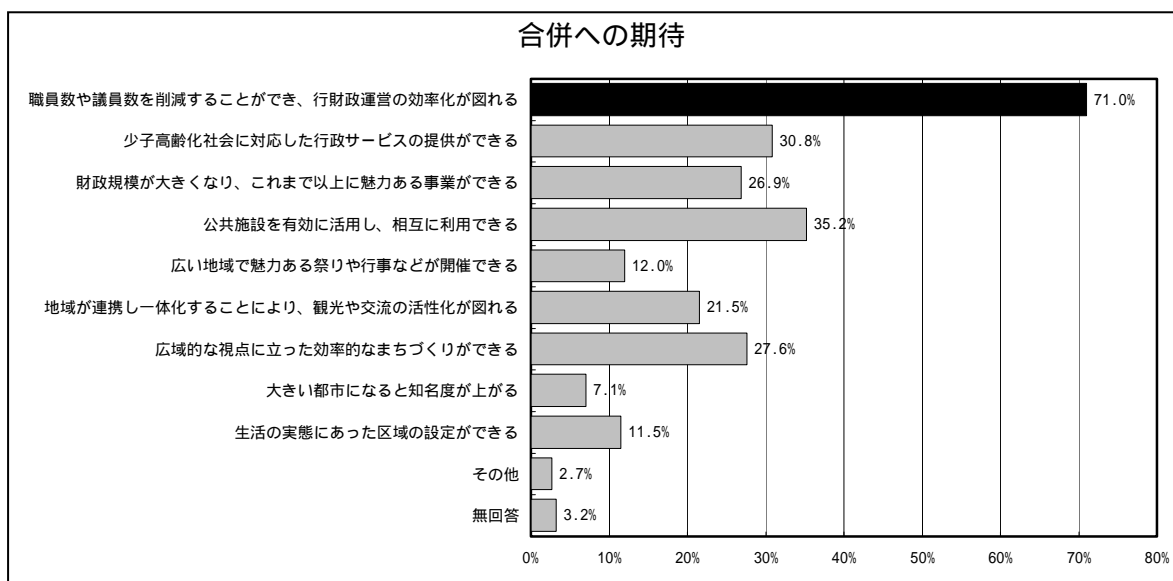
(2) 調査結果のポイント

1) 全体的な特徴

全体を見ると、行財政運営の効率化への期待、地域の声が届かなくなることの不安、将来に向けての保健・医療と福祉の充実化を望むものが多い。

【行財政運営・市役所の効率化への期待】

- ・ 職員・議員の削減による行財政運営の効率化に対する期待が、71%と非常に大きい。
- ・ 新市の重点施策として市役所の効率化を選んだ回答の割合が、36.1%と上位を占めている。



- ・ 行財政運営の効率化に期待すると答えた回答者の中では、丸亀市在住、特に中高年・男性の期待が大きい。

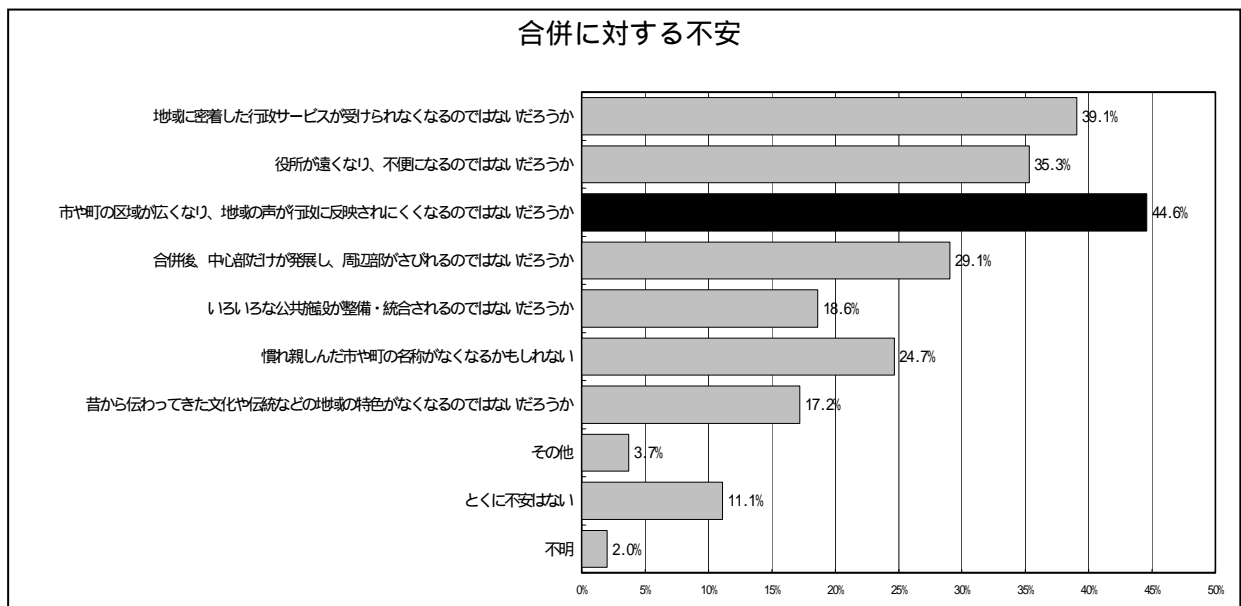
表 行財政の効率化に期待すると答えた回答者の属性

		全体	丸亀市	綾歌町	飯山町
全体		71.0%	73.3%	65.1%	67.0%
男性	計	76.0%	78.0%	70.2%	71.5%
	18～29歳	58.5%	61.3%	46.2%	51.4%
	30歳代	65.9%	68.3%	64.4%	56.4%
	40歳代	73.6%	75.6%	69.1%	68.0%
	50歳代	78.3%	79.2%	73.6%	77.7%
	60歳代	79.8%	83.0%	69.8%	74.6%
	70歳以上	81.4%	83.6%	75.5%	73.9%
女性	計	68.0%	70.0%	60.9%	63.5%
	18～29歳	43.9%	45.7%	32.1%	36.9%
	30歳代	54.8%	56.2%	47.8%	51.8%
	40歳代	66.9%	69.5%	60.9%	59.2%
	50歳代	75.2%	78.2%	64.9%	70.4%
	60歳代	75.4%	78.2%	66.7%	69.7%
	70歳以上	68.6%	70.8%	60.2%	63.9%

注：網かけは、構成比が8割以上のものにつけられている。

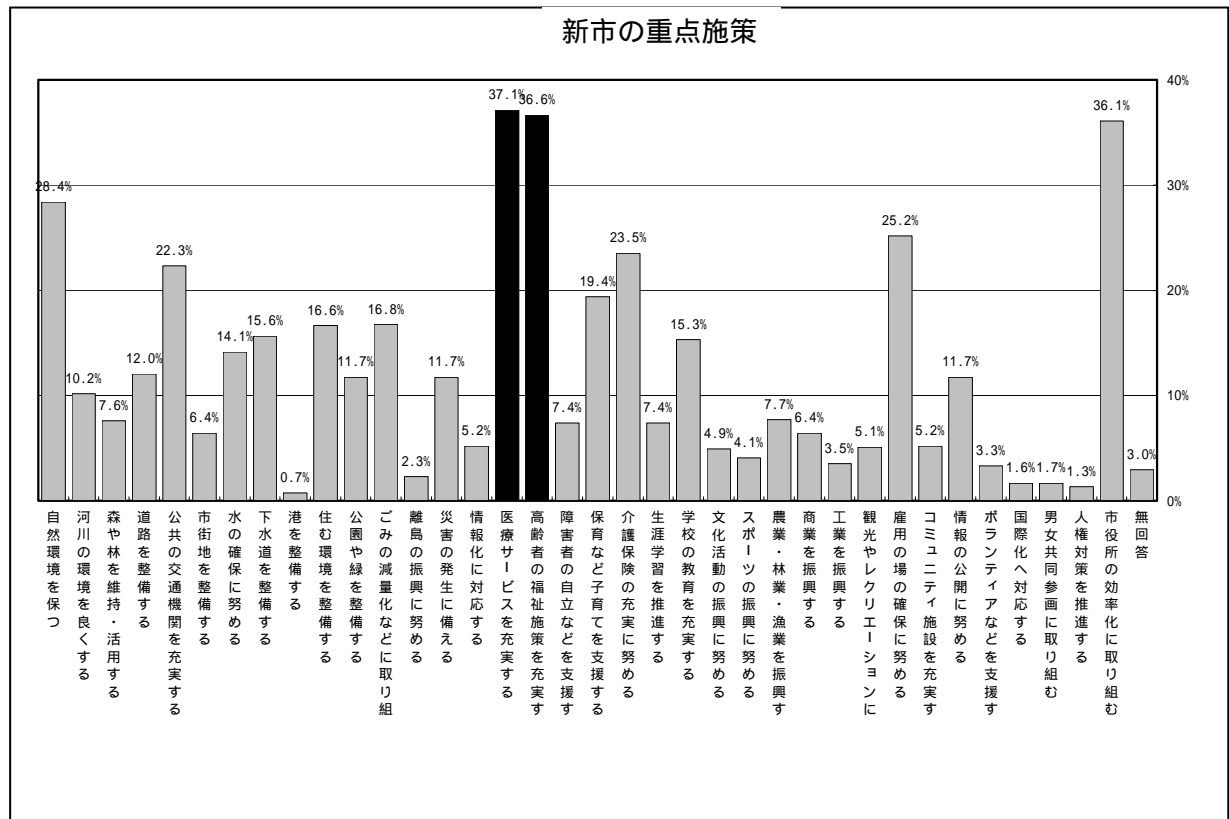
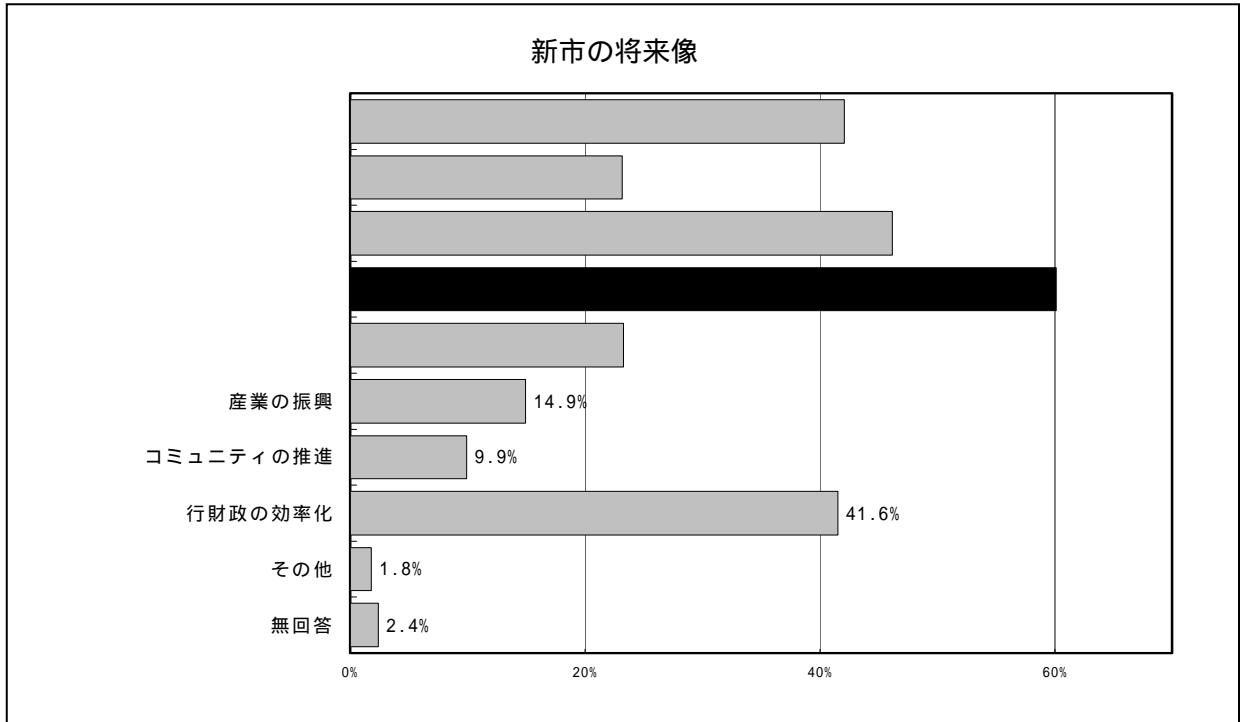
【地域の声が届かなくなることの不安】

- ・ 市や町の区域が広くなり、地域の声が行政に反映されにくくなることに対する不安が44.6%と大きい。地域の声が届かなくなるのが不安と答えた回答者は、居住地、性別、年齢を問わずほぼ全ての層にわたっており、特に偏った傾向は見られない。最後の自由回答にも、住民の声をよく聞いて欲しいという意見が比較的多く寄せられている。



【将来に向けての保健・医療と福祉の充実化】

- ・ 将来像として、保健・医療と福祉が充実を望む声が、60.1%と大きい。
- ・ 新市の重点施策として、医療サービスの充実化、高齢者福祉の充実化を選んだ回答が上位を占めている。



- ・ 将来的に保健・医療と福祉が充実することを望むと答えた回答者の中では、綾歌町・飯山町在住の人々の要望が大きい。

表 保健・医療と福祉の充実を望むと答えた回答者の属性

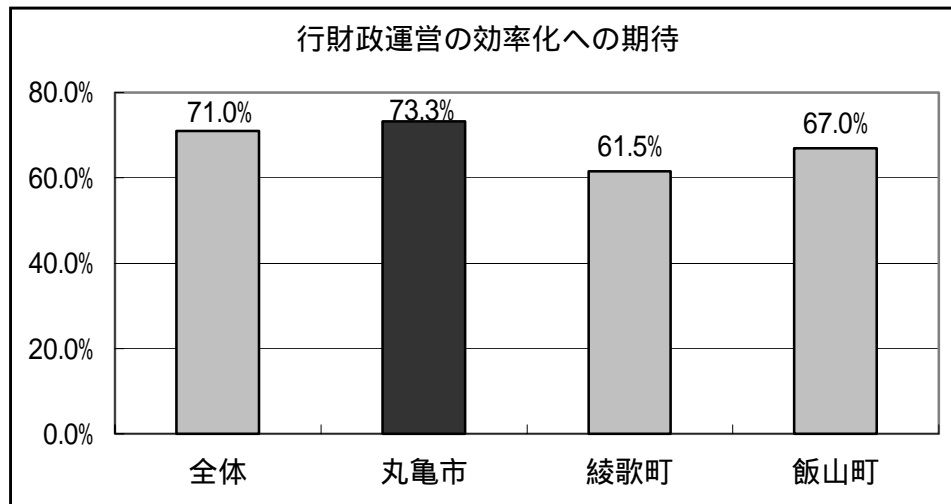
		全体	丸亀市	綾歌町	飯山町
全体		60.1%	59.0%	64.9%	64.1%
男性	計	55.5%	54.1%	59.3%	59.0%
	18～20歳代	40.7%	41.6%	33.3%	40.5%
	30歳代	44.5%	44.4%	45.2%	45.0%
	40歳代	47.1%	45.5%	52.3%	50.8%
	50歳代	53.8%	51.6%	55.7%	60.0%
	60歳代	62.5%	61.3%	67.6%	63.6%
	70歳以上	67.9%	66.2%	73.5%	72.9%
女性	計	64.1%	62.5%	69.2%	67.9%
	18～20歳代	51.2%	51.3%	42.9%	53.6%
	30歳代	53.5%	53.2%	53.0%	56.2%
	40歳代	56.6%	54.4%	63.0%	62.3%
	50歳代	62.2%	60.7%	66.7%	64.8%
	60歳代	72.3%	69.6%	83.5%	75.9%
	70歳以上	75.1%	74.4%	74.3%	79.6%

注：網かけは、綾歌町・飯山町のうち、丸亀市の構成比を上回るものにつけられている

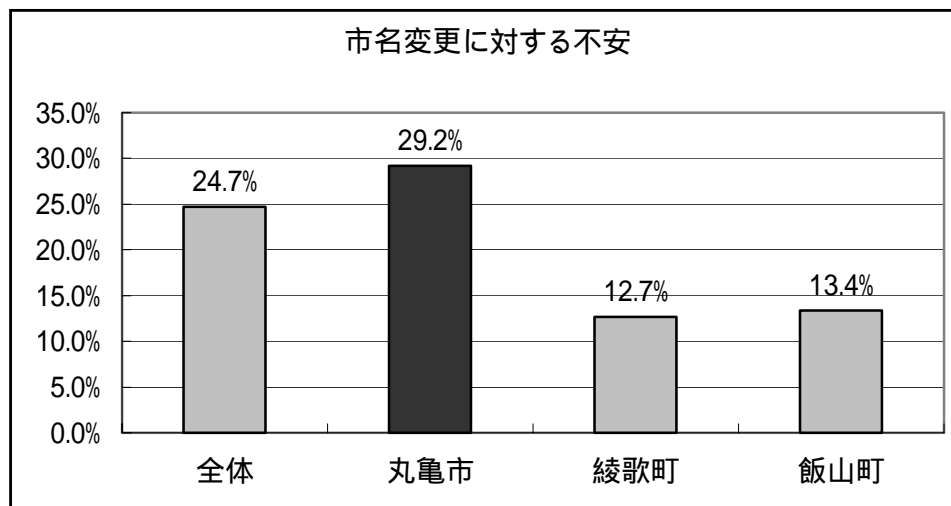
2) 居住地別の特徴

【丸亀市の特徴】

・行財政運営の効率化や市役所の効率化に対する期待が2町と比べて大きい。

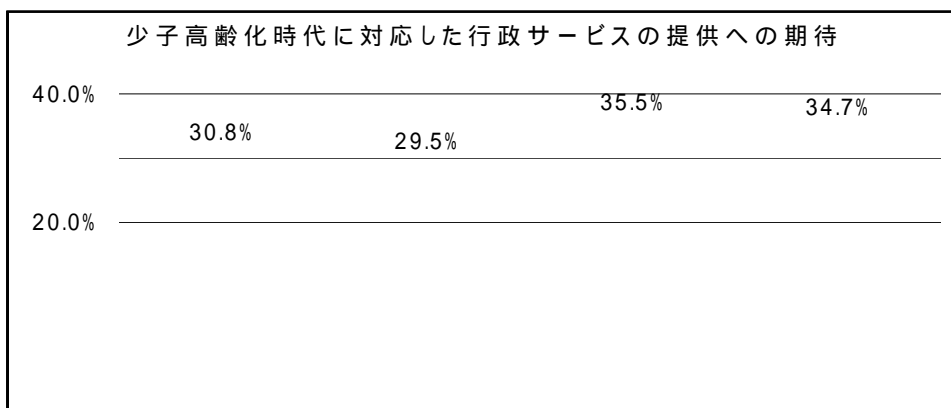
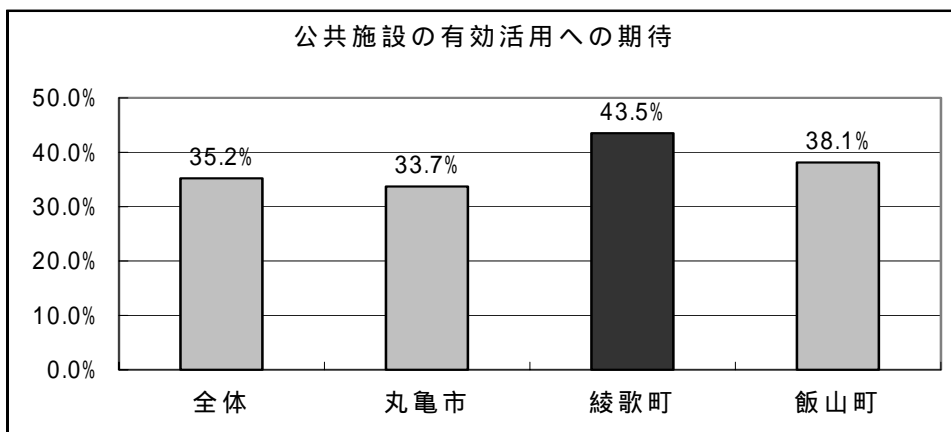


・市名変更への不安が29.2%と2町と比べて大きい。

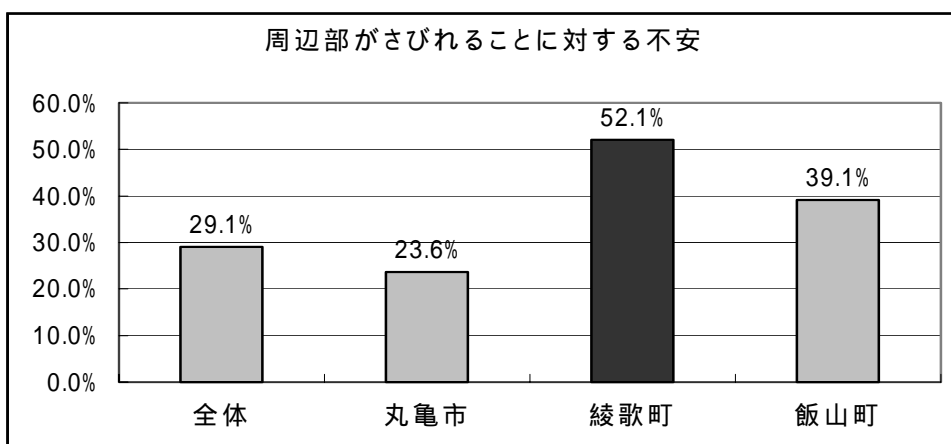


【綾歌町の特徴】

・ 公共施設の有効活用や、少子高齢化社会に向けた行政サービスの提供への期待が、丸亀市と比べて大きい。これは、綾歌町では丸亀市と比べて公共施設数が少ないということが背景になっていると考えられる。



・ 合併後に中心部だけが発展することを不安に思っている人の割合が、52.1%と 1 市 2 町の中で最も大きい。



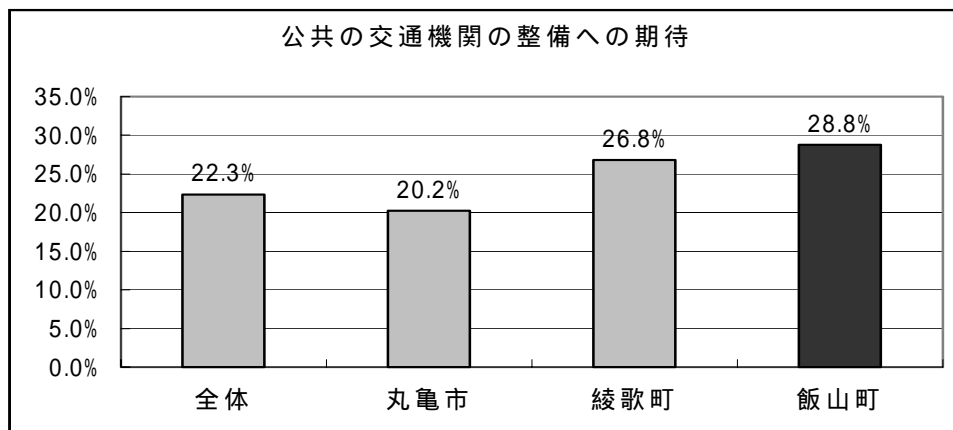
・合併に伴い、校区が変更されて高松方面の高等学校に子供が通えなくなることを危惧している人が多い。その他のコメントとして寄せられた回答のほとんどが高等学校の校区に関する不安の声である。

コメントの一例

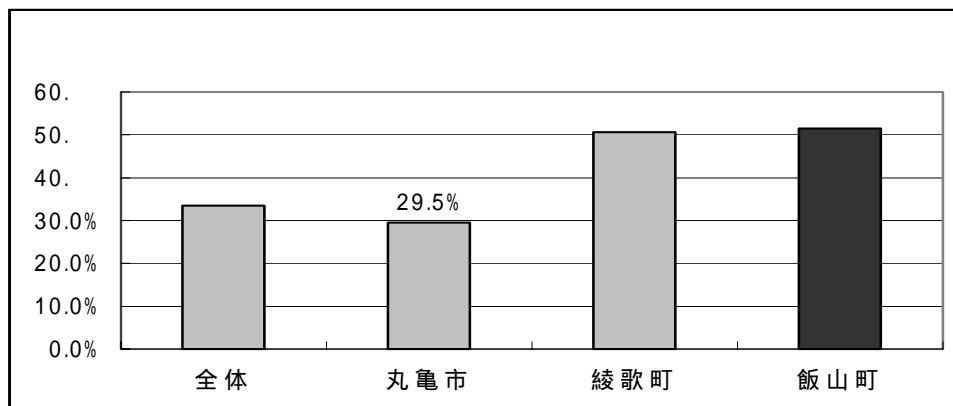
- ・高校受験に高松方面が受けられなくなってしまうのではないか。
- ・高松方面の高等学校に通えなくなるのでは？
- ・子供達が高松方面の高校に行けなくなるのではないだろうか？
- ・高校受験の受けられる所が変わるのではないか？
- ・高校受験の学校区が心配です。
- ・高松方面への進学ができなくなるのが心配。
- ・近い将来、子供に高松方面の高等学校を受験させたいと考えている親として現在、綾歌地区だけが高松方面の高等学校を受験出来るが合併したら高等学校の校区が変わりはしないか不安。

【飯山町の特徴】

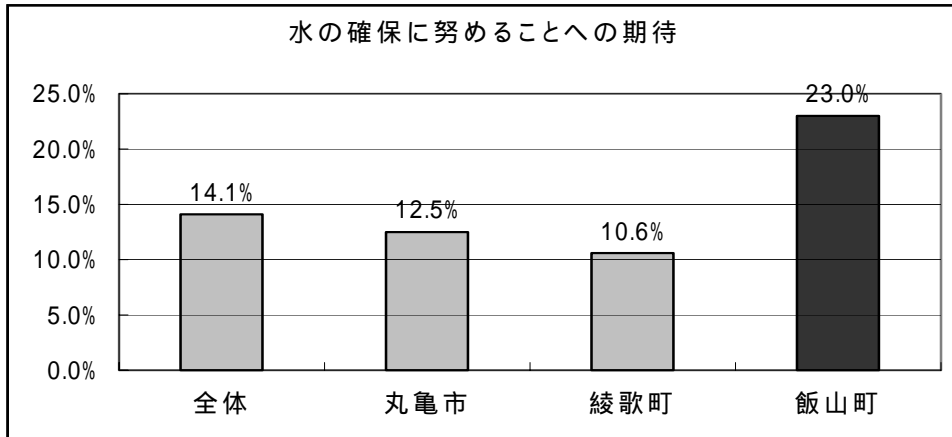
・新市の重点施策として、公共の交通機関の整備を望む回答の割合が、28.8%と1市2町の中で最も大きい。



・役所が遠くなり不便になることへの不安が、1市2町の中で51.5%と最も大きい。



・水の確保に力をいれて欲しいという要望が他地域と比べて23.0%と大きく、特に年齢が上がるにつれてその割合が大きくなっている。これは、水源を溜池に頼っている飯山町の人々が、水に関して苦労してきたことの現われと考えられる。



(3) 合併への期待

問：1市2町が合併するとしたら、あなたはどのようなことを期待しますか。以下の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

職員・議員の削減による行財政運営の効率化が71%と最も期待されており、特に丸亀市・男性・中高年においてその期待が大きい。

【全体】

- ・ 「職員・議員の削減による行財政運営の効率化」への期待が71%と群を抜いて大きい。
- ・ 次いで、「少子高齢化への対応した行政サービスの提供」、「財政規模の拡大に伴う魅力ある事業の実施」、「公共施設の有効活用」、「観光や交流の活性化」、「広域的な視点に立ったまちづくり」の5つへの期待が比較的大きい。
- ・ 上位6回答の全体に対する割合は、以下の通り。

「職員数や議員数を削減することができ、行財政運営の効率化が図れる」・・・71.0%
「公共施設を有効に活用し、相互に利用できる」・・・35.2%
「少子高齢化社会に対応した行政サービスの提供ができる」・・・30.8%
「広域的な視点に立った効率的なまちづくりができる」・・・27.6%
「財政規模が大きくなり、これまで以上に魅力ある事業ができる」・・・26.9%
「地域が連携し一体化することにより、観光や交流の活性化が図れる」・・・21.5%

【居住地別】

- ・ 基本的に1市2町ともに全体の傾向と同じである。
- ・ 綾歌町では、「公共施設の有効活用」への期待が44%と比較的大きい。これは、綾歌町では丸亀市と比較して公共施設の数が少ないことが背景として考えられる。
- ・ 綾歌町・飯山町では、「少子高齢化社会に対応した行政サービスの提供」への期待が丸亀市と比べて大きい。

【男女別】

- ・ 基本的に男女ともに全体の傾向と同じである。
- ・ 「行財政運営の効率化」や「広域的な視点に立ったまちづくり」への期待は男性の方が大きく、「少子高齢化社会に対応した行政サービスの提供」への期待は女性の方が大きい。

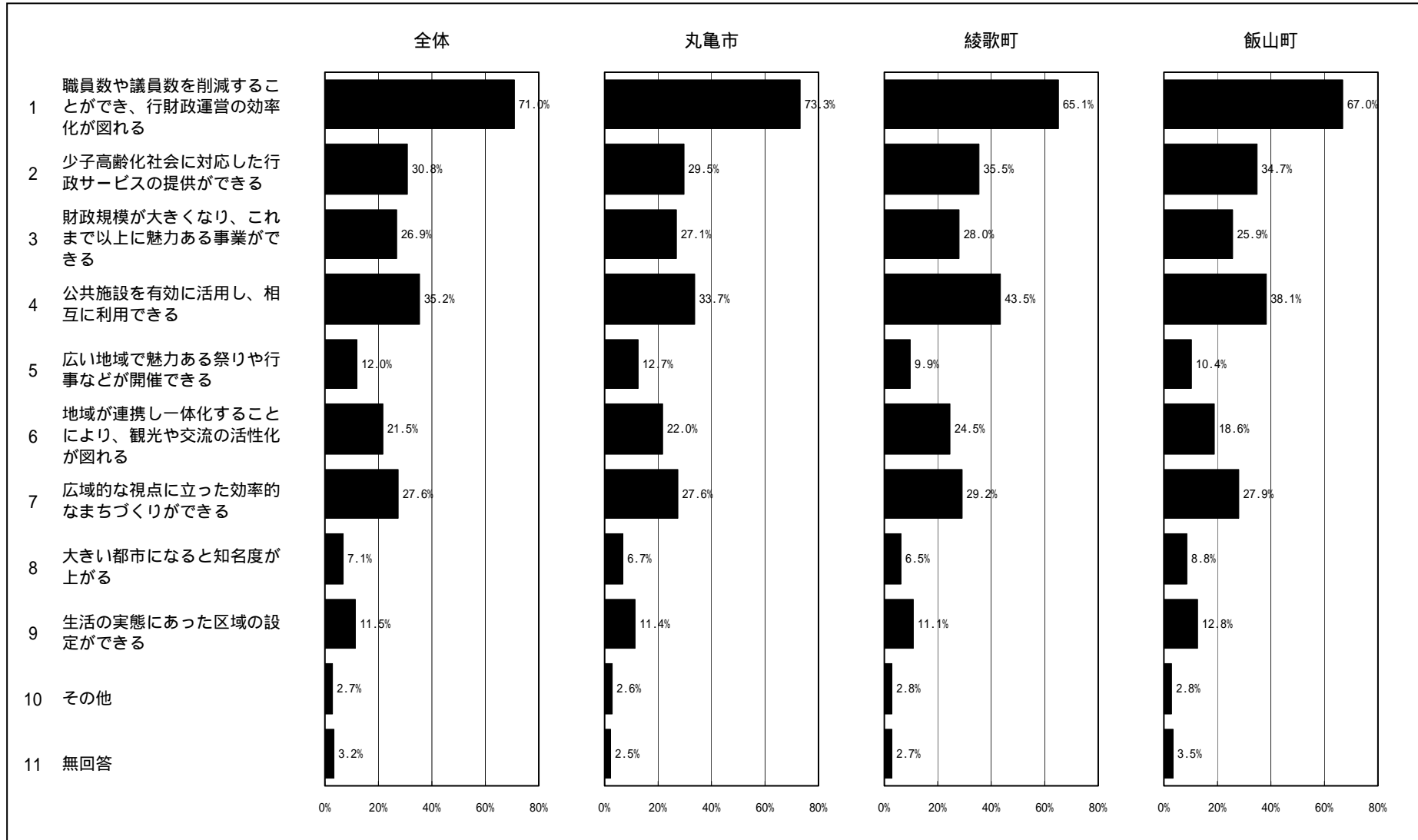
【年齢別】

- ・ 「職員・議員の削減による行財政運営の効率化」への期待が全世代に共通して最も大きく、年齢が上がるにつれて、その割合は大きくなっている。
- ・ 18～30歳代と60～70歳以上において「少子高齢化社会に対応した行政サービスの提供」への期待が大きい。これは、前者については自分の子供、後者については自分に直接関わる分野として、関心が高いためだと考えられる。
- ・ 30～40歳代において「公共施設の有効活用」への期待が約40%と大きい。
- ・ 18～29歳において「広い地域で魅力ある祭りや行事などの開催できるようになる」ことへの期待が26.2%と大きい。これは、若者が従来 of 地域内の伝統行事に拘らず、新しい祭りや行事を求めていることの現われだと考えられる。

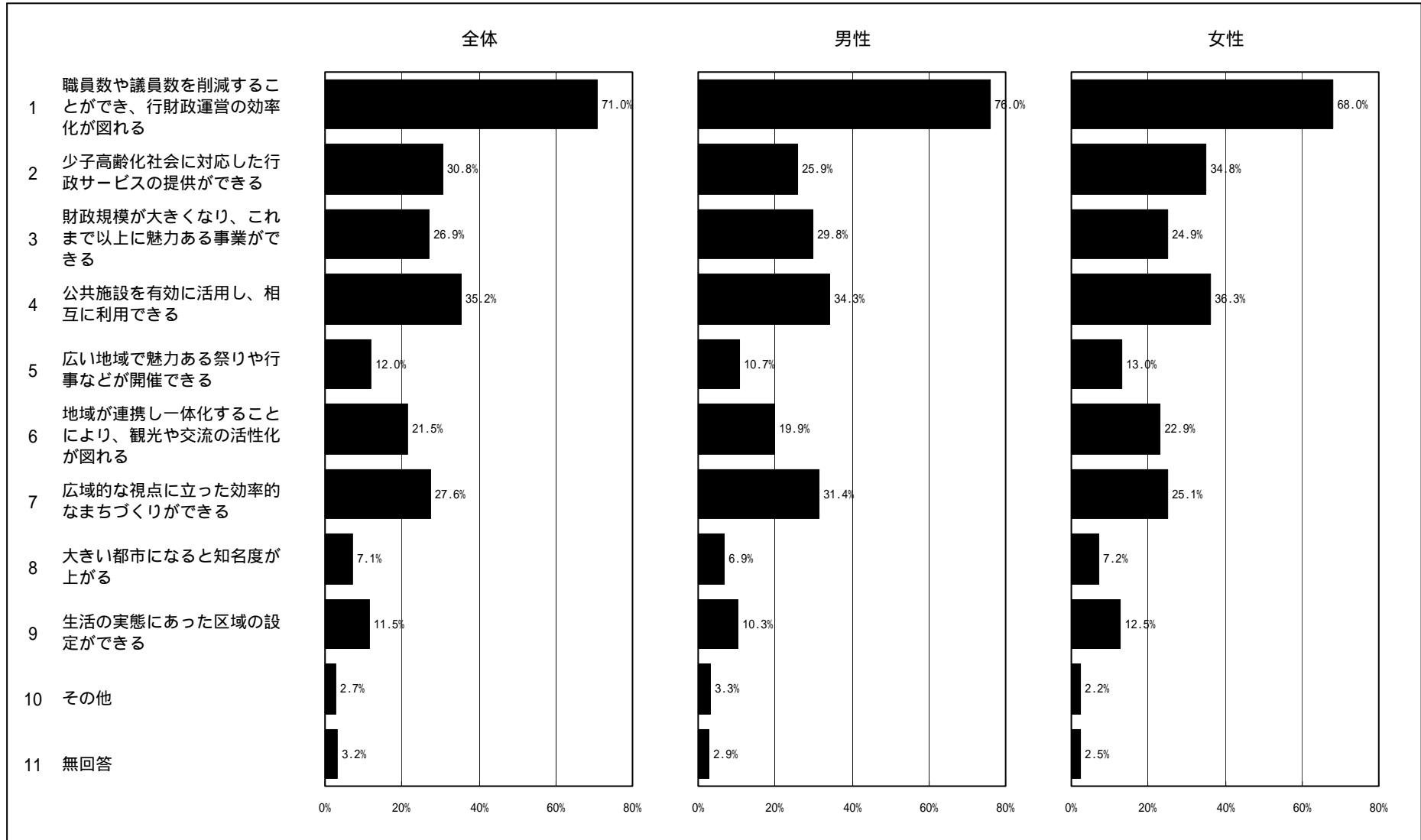
【その他のコメント】

- ・ 丸亀市では、税金の負担減、職員・議員の給料を下げること、公共交通機関を整備すること、環境の保全、レオマの再建などに対する期待が見られる。
- ・ 綾歌町では、公共交通機関の整備、税金の負担減、福祉の充実、などに対する期待が見られる。
- ・ 飯山町では、税金の負担減、公共交通機関の整備、職員の対応がよくなること、などに対する期待が見られる。交通機関の中では、特にバス運行に対する期待が大きい。

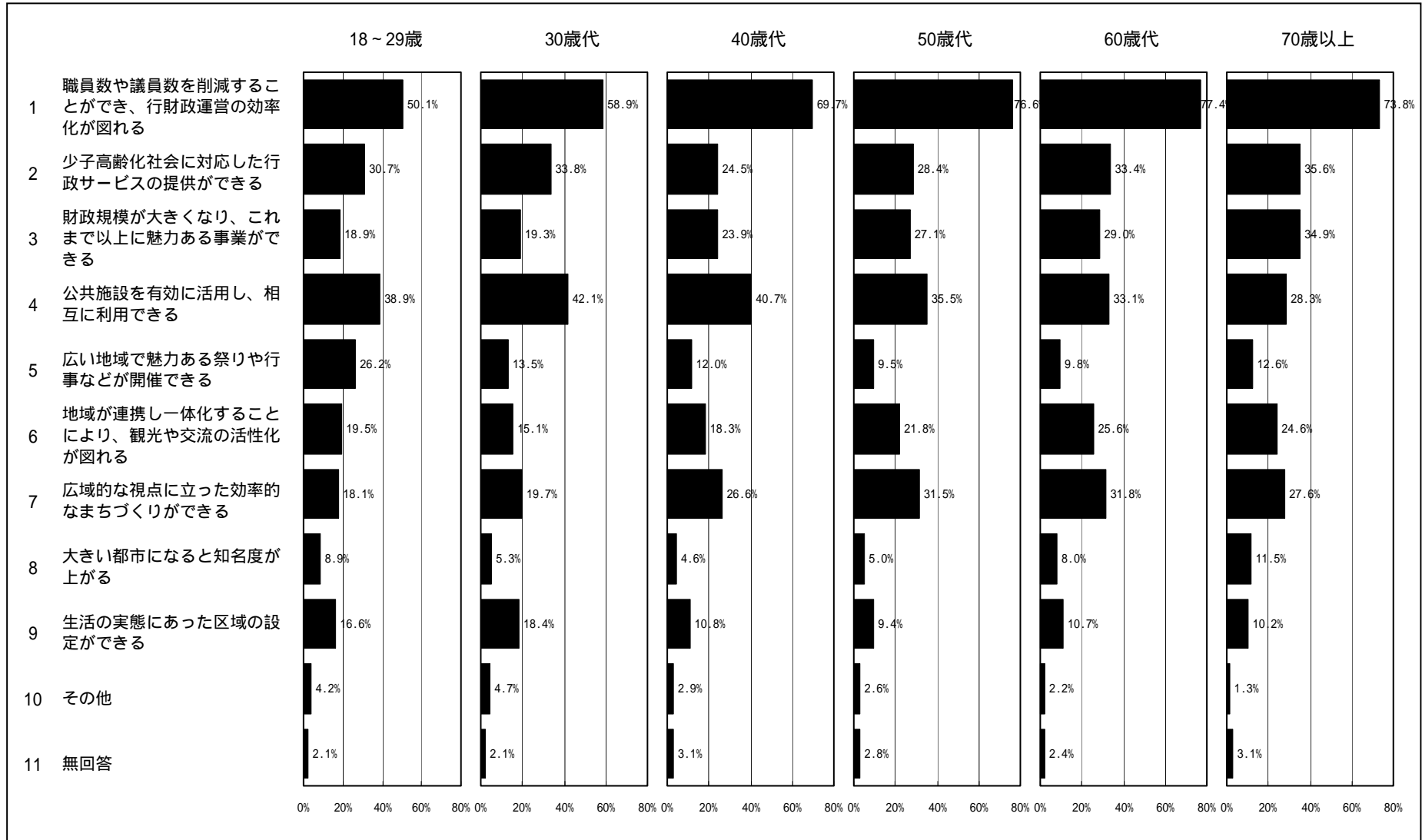
< 居住地別 >



<男女別>



< 年齢別 >



(4) 合併に対する不安

問 : 1市2町が合併するとしたら、あなたはどのようなことを不安に思いますか。以下の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

- ・ 市町・性別・年齢を問わず、「市や町の区域が広くなり、地域の声が行政に反映されにくくなる」ことに対する不安が44.6%と最も大きい。
- ・ 丸亀市では、「慣れ親しんだ市や町の名称がなくなる」ことに対する不安が大きく、綾歌町・飯山町では「合併後、中心部だけが発展し、周辺部がさびれる」ことに対する不安が大きい。

【全体】

- ・ 「市や町の区域が広くなり、地域の声が行政に反映されにくくなる」ことに対する不安が最も大きい。
- ・ 次いで、「地域に密着したサービスが受けられなくなる」、「役所が遠くなり不便になる」、「合併後中心部だけが発展し、周辺部がさびれる」、「慣れ親しんだ市や町の名称がなくなる」の4つに対する不安が大きい。
- ・ 上位5回答の全体に対する割合は、以下の通り。

「市や町の区域が広くなり、地域の声が行政に反映されにくくなる」・・・44.6%

「地域に密着した行政サービスが受けられなくなる」・・・39.1%

「役所が遠くなり不便になる」・・・35.3%

「合併後、中心部だけが発展し、周辺部がさびれる」・・・29.1%

「慣れ親しんだ市や町の名称がなくなる」・・・24.7%

【居住地別】

- ・ 丸亀市は、「慣れ親しんだ市や町の名称がなくなる」ことに対する不安が2町と比べて29.2%と大きい。
- ・ 綾歌町・飯山町は、上位3回答とも丸亀市を上回っており、また「合併後、中心部だけが発展し、周辺部がさびれる」ことに対する不安が丸亀市と比べて大きい。特に綾歌町において周辺部がさびれることに対する不安が大きい。

【男女別】

- ・ 基本的に男女ともに全体の傾向と同じである。
- ・ 「特に不安はない」を選んだ割合は男性の方が大きく、「役所が遠くなり不便になる」ことへの不安は女性の方が多い。

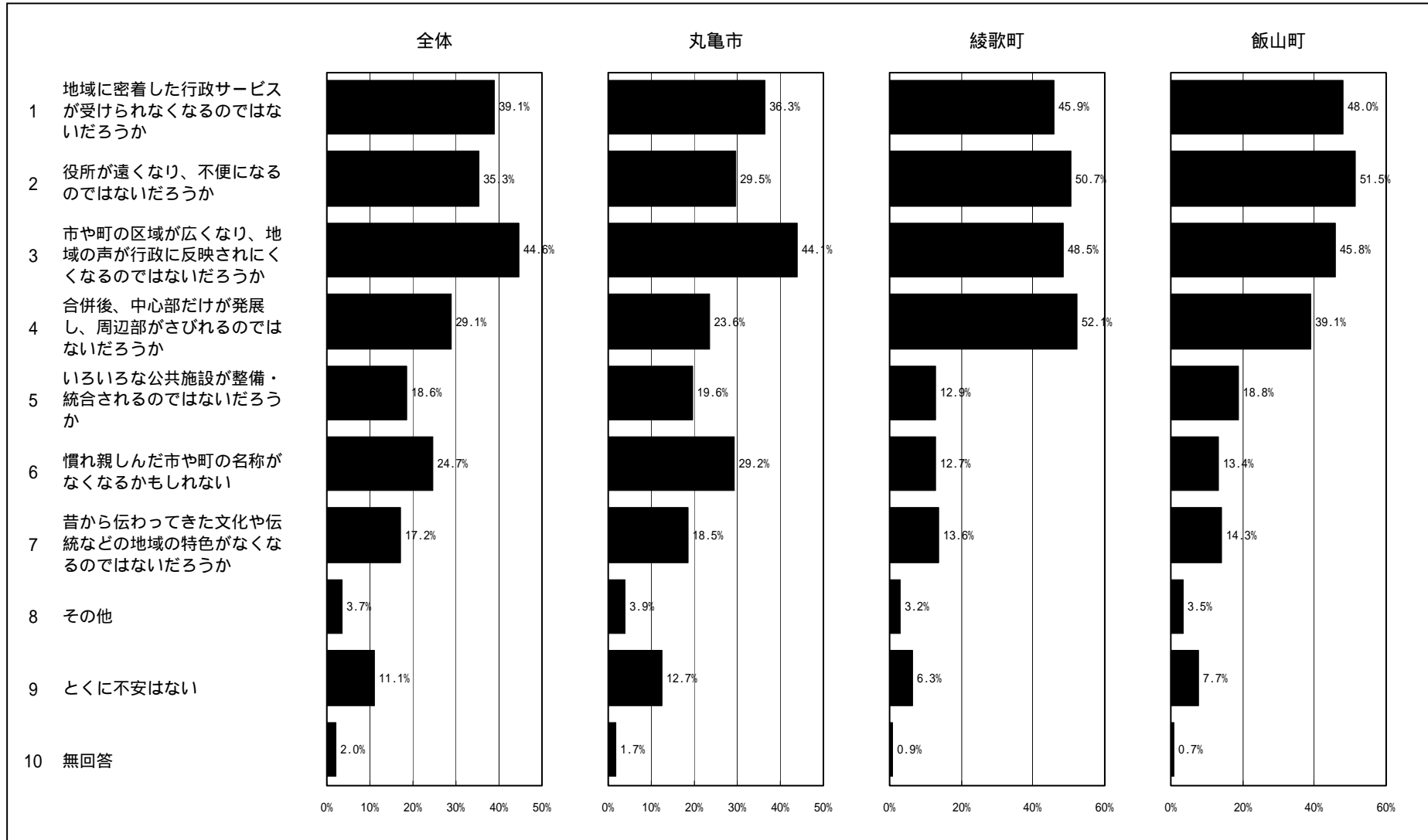
【年齢別】

- ・ 全体の上位3回答の割合は、全世代に共通して大きい。
- ・ 18～29歳において「役所が遠くなり、不便になる」ことへの不安が43.4%と大きく、これは、1市2町共通の傾向である。これを挙げるのは、一般に、女性の方が割合が高い。しかし、18歳～29歳では、男性も比較的関心が強く、独身の場合に自分で役所に書類をとりに行くことが多いことなどが原因と推察される。
- ・ 70歳以上において「昔から伝わってきた文化や伝統などの地域の特色がなくなる」ことへの不安が22.3%と比較的大きい。

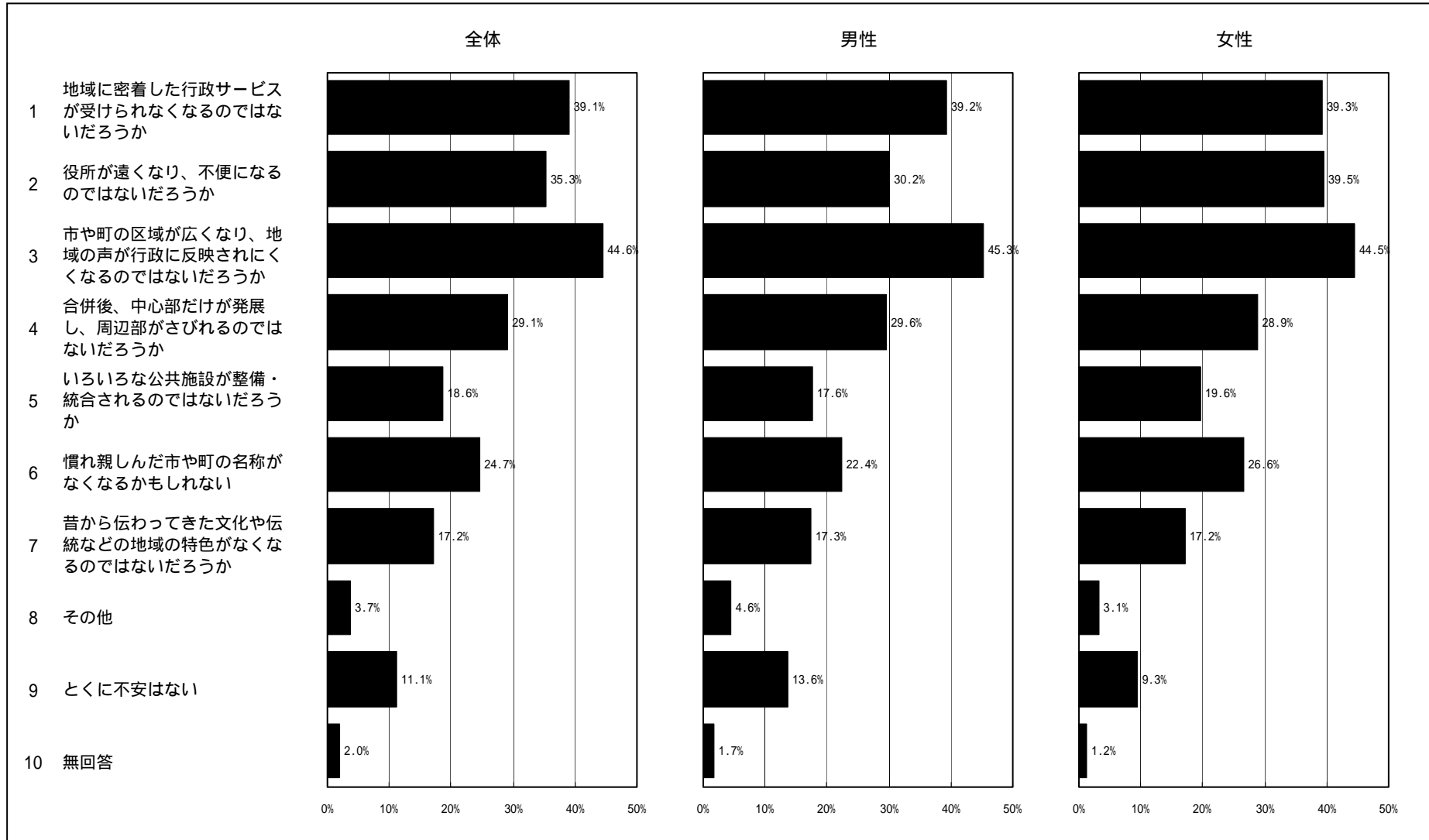
【その他のコメント】

- ・ 丸亀市では、税金・公共料金などの負担増、行財政の効率化の成否、職員・議員削減の成否、周辺部ではなくむしろ中心市街地がさびれること、などに対する不安が見られる。
- ・ 綾歌町では、高等学校の校区の変更、税金・公共料金等の負担増、地域の一体感の喪失、などに対する不安が見られる。寄せられたコメントのほとんどが高等学校の校区変更を危惧するという内容であったが、これは、綾歌町に高校がなく、現在高松方面の高校を受験できる制度になっていることが背景としてあるためだと考えられる。
- ・ 飯山町では、税金・公共料金などの負担増、行財政の効率化の成否、地域エゴの露呈、などに対する不安が見られる。

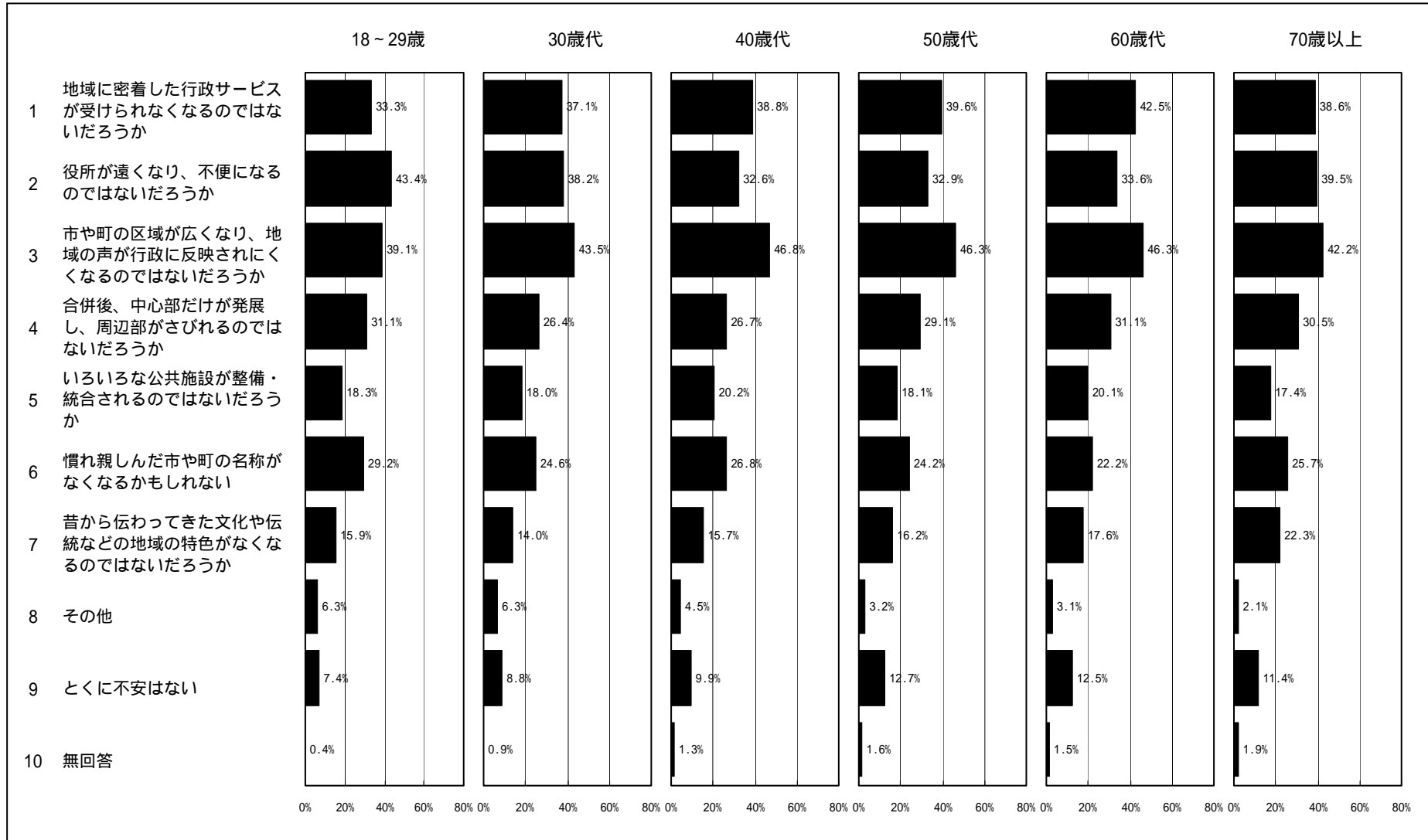
< 居住地別 >



< 男女別 >



< 年齢別 >



(5) 新市の将来像

問：1市2町が合併するとしたら、将来的にどのようなまちになっていけばよいと思いますか。
以下の中から3つ以内で選んで番号に をしてください。

「保健・医療と福祉の充実」を望む回答の割合が60.1%と最も大きく、その中では綾歌町・飯山町の割合が大きく、また女性や高齢者の割合が大きい。

【全体】

- ・ 「保健・医療と福祉の充実」を望む回答が60.1%と最も多い。
- ・ 次に、「生活環境の整備」、「自然環境の保全と活用」、「行財政の効率化」を望む回答が多い。
- ・ 上位4回答の全体に対する割合は、以下の通り。

「保健・医療と福祉の充実」・・・60.1%
「生活環境の整備」・・・46.2%
「自然環境の保全と活用」・・・42.1%
「行財政の効率化」・・・41.6%

【居住地別】

- ・ 基本的に1市2町ともに全体と同じ傾向である。
- ・ 市町ごとの差はほとんど見られないが、丸亀市では「都市基盤の整備」と「行財政の効率化」を望む回答の割合が相対的に大きく、綾歌町・飯山町では、「保健・医療と福祉の充実」を望む回答の割合が大きい。

【男女別】

- ・ 基本的に男女ともに全体と同じ傾向である。
- ・ 「都市基盤の整備」、「産業の振興」、「行財政の効率化」を望む回答の割合は男性の方が大きく、「保健・医療と福祉の充実」、「生活環境の整備」を望む回答の割合は女性の方が大きい。

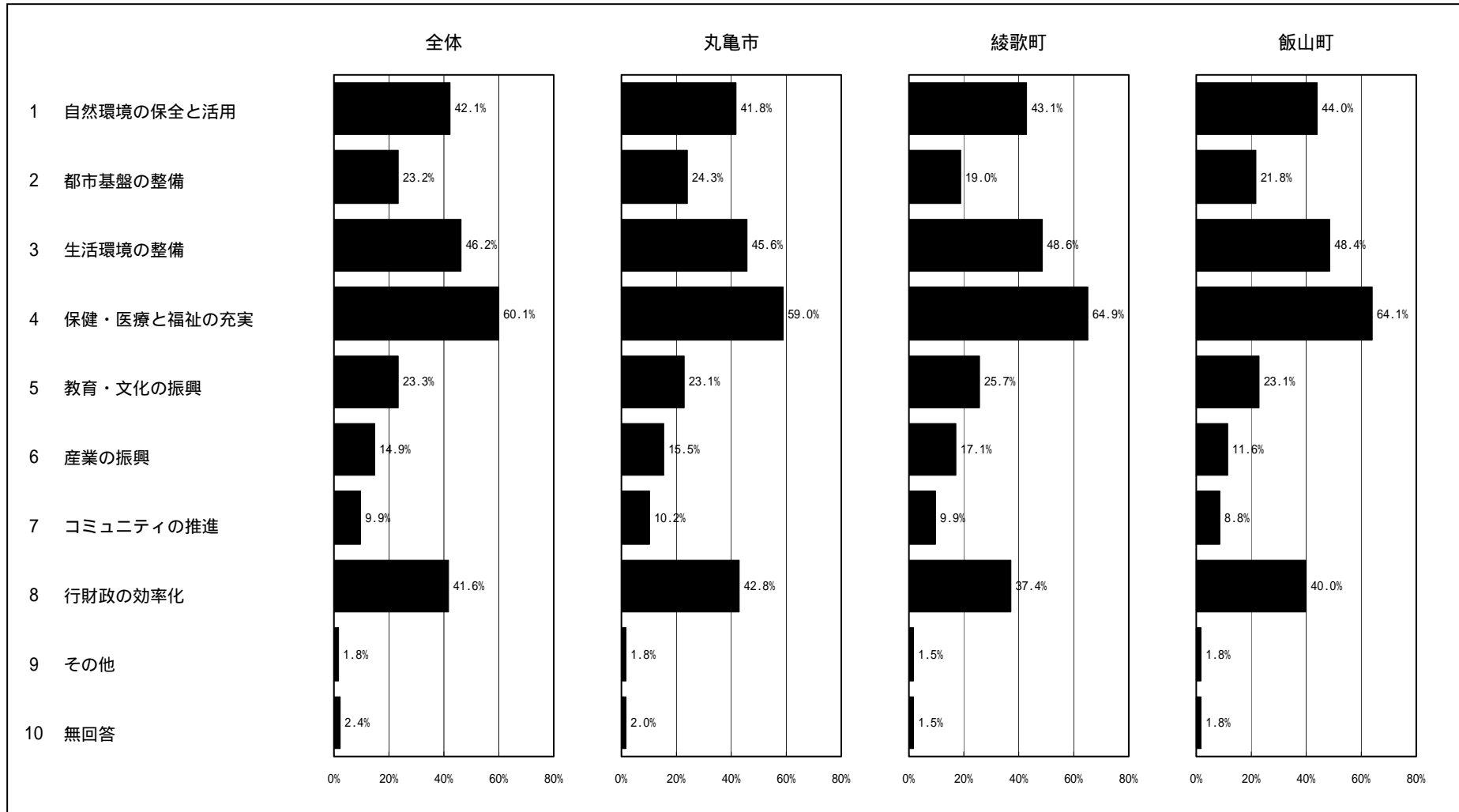
【年齢別】

- ・ 「保健・医療と福祉の充実」、「自然環境の保全と活用」、「行財政の効率化」を望む回答は、年齢が上がるにつれてその割合が大きくなっている。
- ・ 18～40歳代において「生活環境の整備」を望む回答の割合が大きい。
- ・ 30歳代において「教育・文化の振興」を望む回答の割合が36.6%と大きい。これは、ちょうど自分たちの子供が小・中学校等に行っていることが多いためだと考えられる。

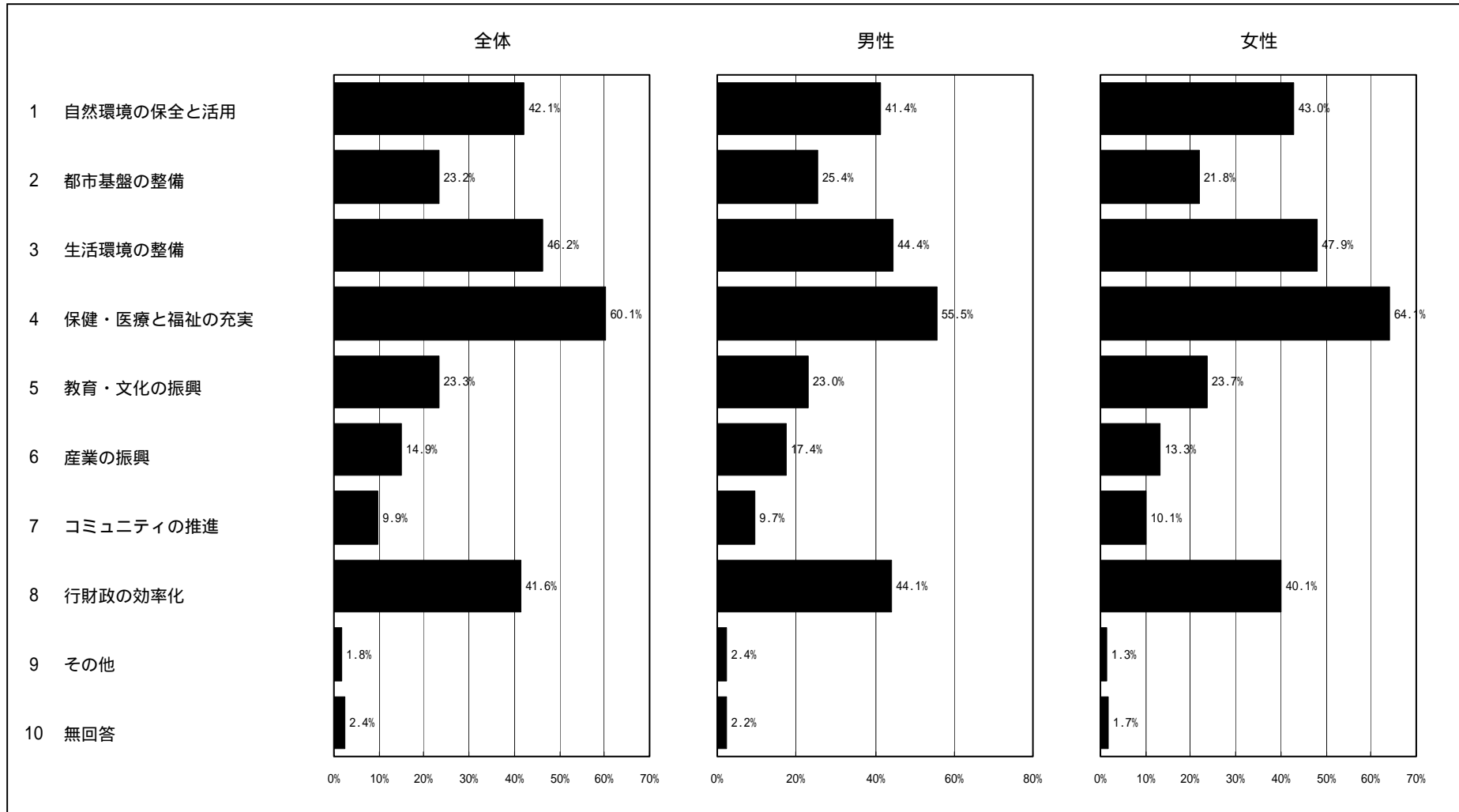
【その他のコメント】

- ・ 丸亀市では、子育てのしやすいまち、職員・議員の削減、公共交通機関の整備、を望む回答などが見られる。
- ・ 綾歌町では、公共交通機関の整備、職員・議員の削減、を望む回答などが見られる。
- ・ 飯山町では、公共交通機関の整備、子供のためのまちづくり、税等の負担減、を望む回答などが見られる。

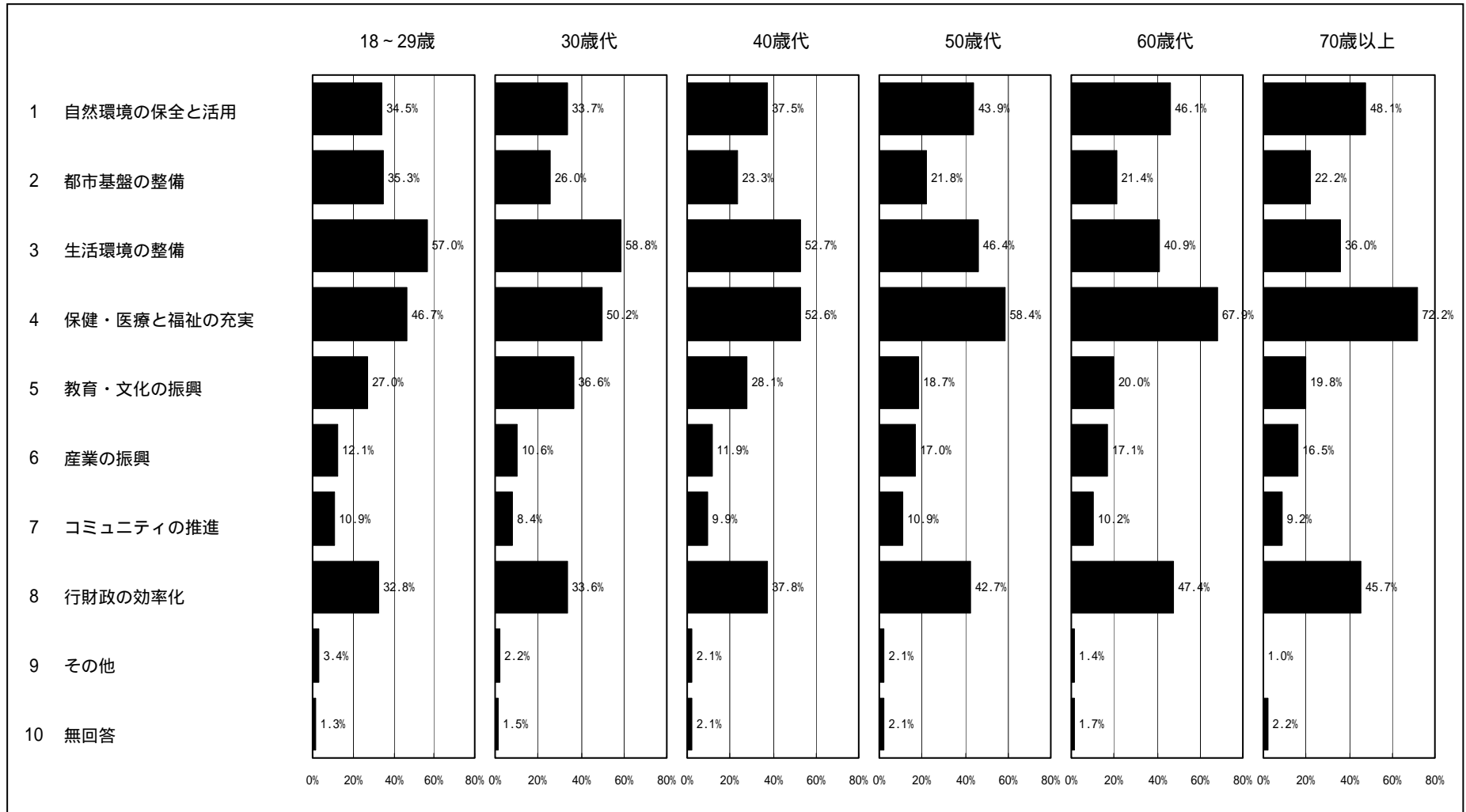
< 居住地別 >



<男女別>



< 年齢別 >



(6) 新市の重点施策

問 : 合併した場合、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。以下の中から5つ以内で選んで番号に をしてください。

- ・ 「医療サービスを充実する」、「高齢者の福祉施策を充実する」、「市役所の効率化に取り組む」ことを望む回答の割合が36~37%と最も大きい。
- ・ 「医療サービスを充実する」ことを望む回答においては、女性の割合が大きい。
- ・ 「高齢者の福祉施策を充実する」ことを望む回答においては、高齢者の割合が大きい。
- ・ 「市役所の効率化に取り組む」ことを望む回答においては、丸亀市や男性、中高年の割合が大きい。

【全体】

- ・ 「医療サービスを充実する」、「高齢者の福祉施策を充実する」、「市役所の効率化に取り組む」ことを望む回答が最も多い。
- ・ 次いで、「自然環境を保つ」、「雇用の場の確保に努める」、「公共の交通機関を充実する」ことを望む回答が多い。
- ・ 上位6回答の全体に対する割合は、以下の通り。

- 「医療サービスを充実する」・・・37.1%
- 「高齢者の福祉施策を充実する」・・・36.6%
- 「市役所の効率化に取り組む」・・・36.1%
- 「自然環境を保つ」・・・28.4%
- 「雇用の場の確保に努める」・・・25.2%
- 「公共の交通機関を充実する」・・・22.3%

【居住地別】

- ・ 基本的に1市2町ともに全体の傾向と同じである。
- ・ 丸亀町では、「市役所の効率化に取り組む」ことを望む回答の割合が39.0%と多い。
- ・ 綾歌町・飯山町では、「公共の交通機関を整備する」ことを望む回答の割合が、丸亀市より大きい。
- ・ 飯山町では、「水の確保に努める」ことを望む回答の割合が23.0%と大きい。これは、飯山町の人々が水源を溜池に頼るなど、水に関して苦労をしてきたことから関心が高くなっていると考えられる。

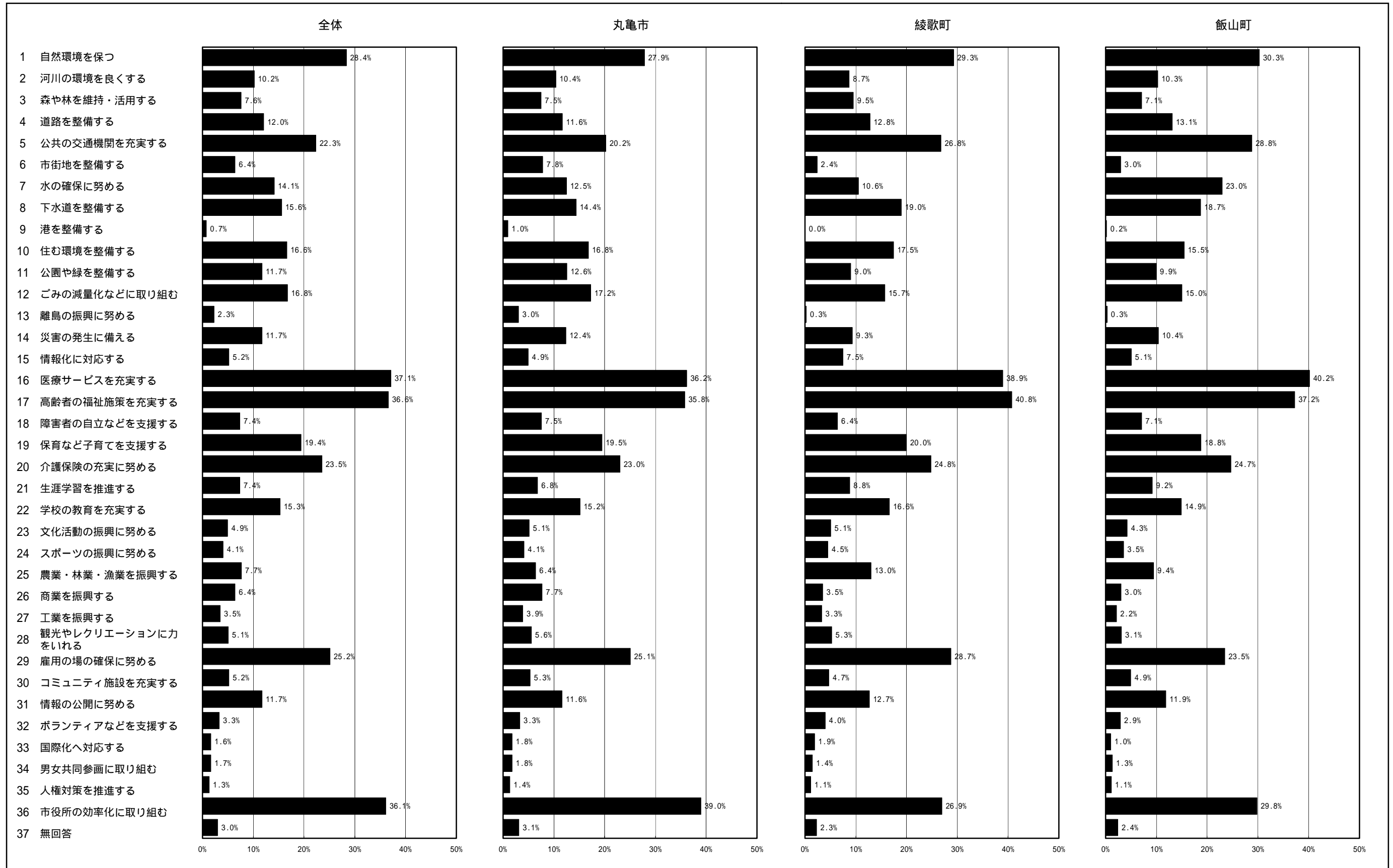
【男女別】

- ・ 基本的に男女ともに全体の傾向と同じである。
- ・ 「市役所の効率化に取り組む」ことを望む回答の割合は男性の方が大きく、「医療サービスを充実する」、「保育など子育てを支援する」、「介護保険の充実に努める」ことを望む回答の割合は女性の方に大きい。

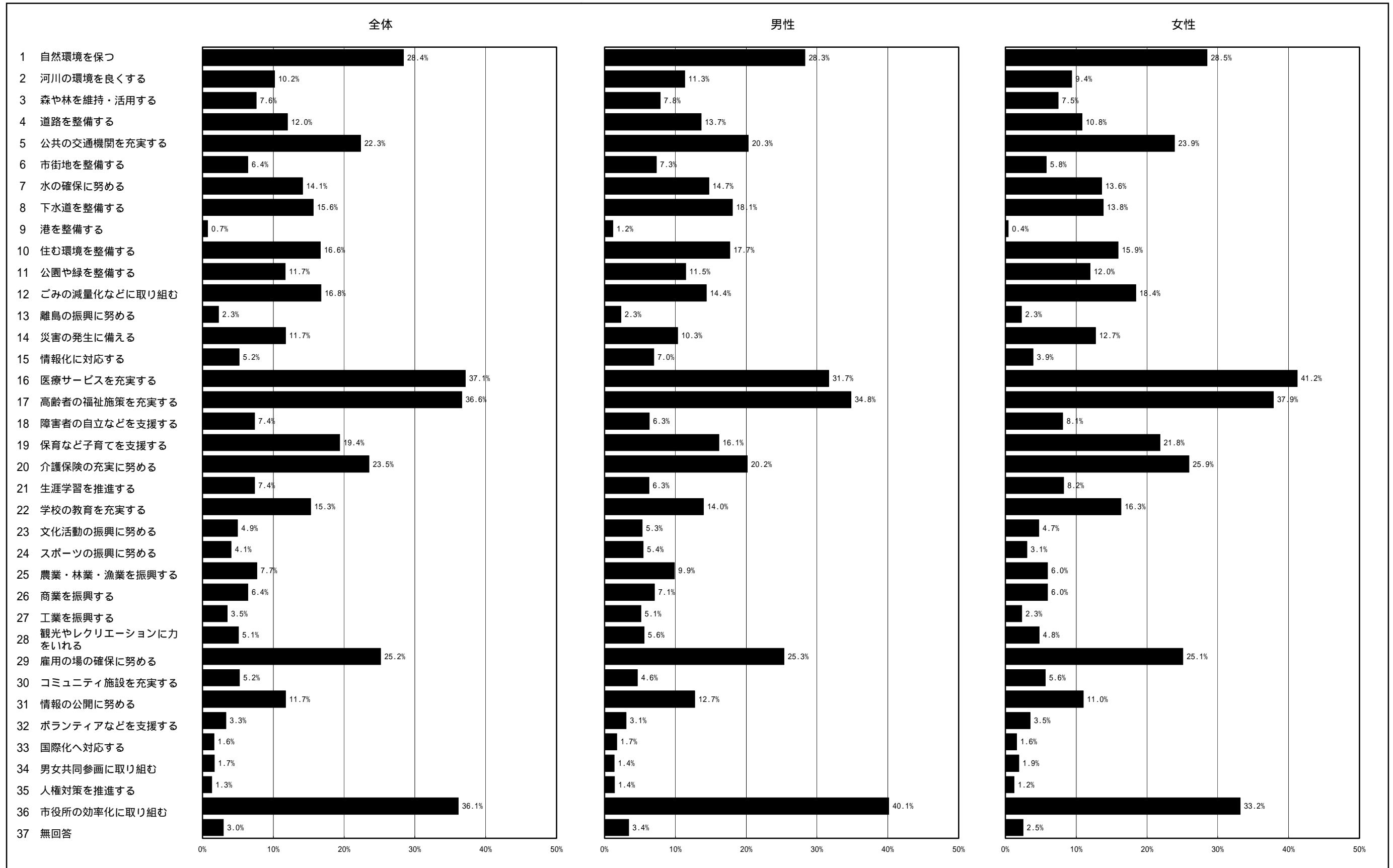
【年齢別】

- ・ 「医療サービスを充実する」ことを望む回答の割合は、全世代を通じて大きい。
- ・ 「高齢者への福祉施策を充実する」ことを望む回答の割合は、年齢が上がるにつれて大きくなっている。
- ・ 40～60歳代において「市役所の効率化に取り組む」、「自然環境を保つ」ことを望む回答の割合が大きい。
- ・ 40～50歳代において「雇用の場の確保に努める」ことを望む回答の割合が大きい。長引く不景気の中、家族を養うために働かなければならない世代として、雇用問題に敏感になっていると考えられる。
- ・ 「公共の交通機関を充実する」ことを望む回答の割合は、年齢が上がるごとに大きくなっている。1市2町は車社会のため、自動車運転が難しい高齢者にとっては、公共の交通機関の有無が切実な問題となっていることが原因と考えられる。
- ・ 18～30歳代において「保育など子育てを支援する」ことを望む回答の割合が大きい。これは、この世代の多くがちょうど結婚する、もしくは結婚しているが自分たちの子供はまだ小さいという世代に該当するためと考えられる。
- ・ 30歳代において「学校の教育を充実する」ことを望む回答の割合が大きい。これは、自分たちの子供を小・中学校等に行かせることを通じて、学校に対する関心が高まっているためだと考えられる。

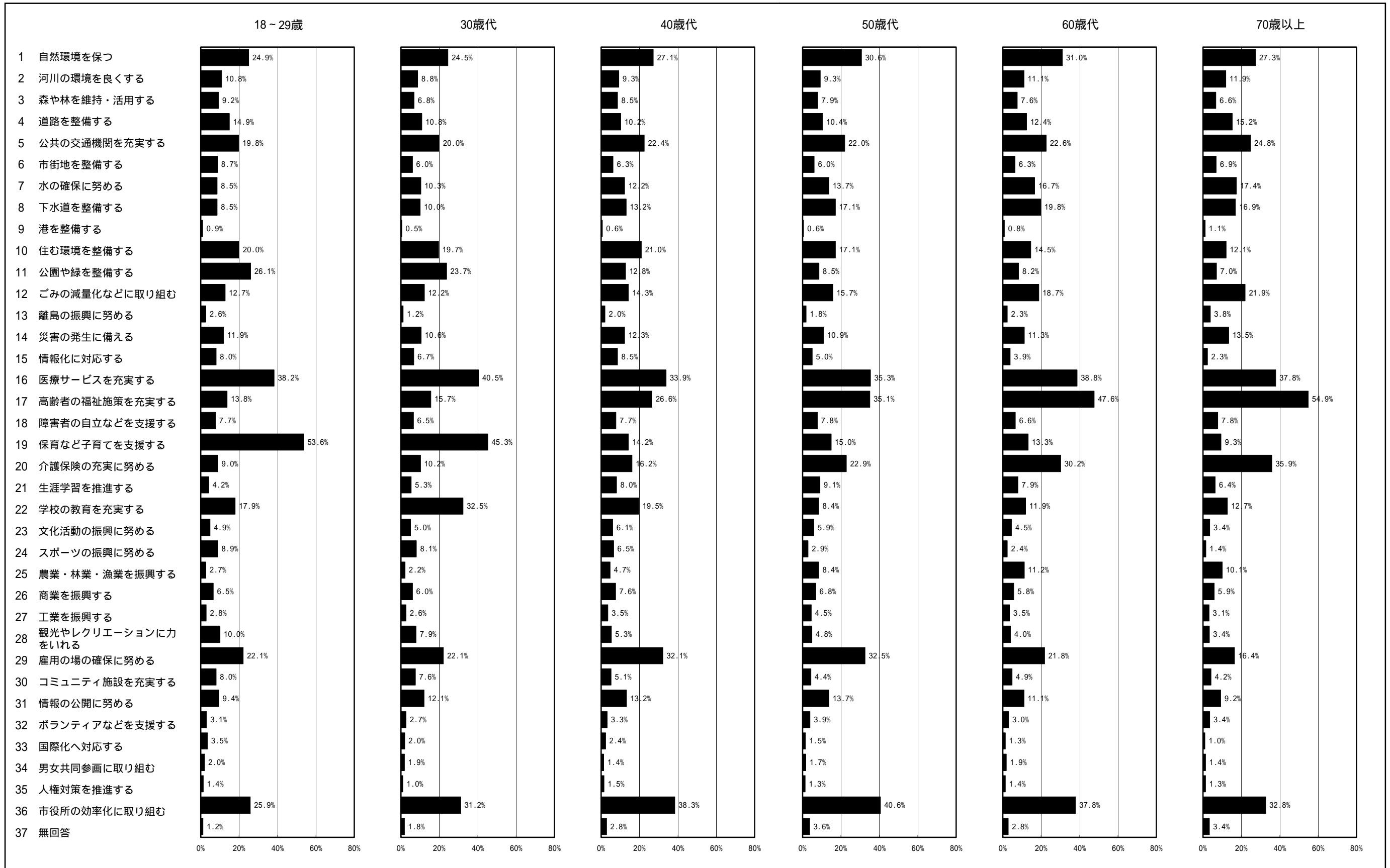
< 居住地別 >



<男女別>



< 年齢別 >



(7) 合併に関する自由意見

問 : 合併に関するご意見ご希望などありましたら、ご自由にお書きください。

主な意見として、以下のような意見があった(合併の賛否に関する意見は除く)。

【職員や議員の数の削減】

- ・ 合併が実現すれば職員および議員数を削減し税金の無駄遣いを少しでもなくして明るい街づくりをして欲しいですね(丸亀・男性・60歳代)。
- ・ 職員、議員数を削減して欲しい。臨時職員の数が多すぎる(綾歌・女性・50歳代)。
- ・ 議員や市役所職員の数の削減に努め、小さな役所、議会にして欲しい。公務員の優遇ではなく、市民を優遇して欲しい(飯山・男性・50歳代)。

【合併に関する情報の公開】

- ・ どんな事も、市民に情報を知らせ、1人1人の市民の力を集めて(参加して)良い町づくりへと発展して欲しい。合併した事が、これからの世代になる、子供達にとって良かったと思えるものにして欲しい(丸亀・女性・30歳代)。
- ・ どのような流れで、どのように事案が進行しているかを常時公開してほしい。具体的な問題点があれば、市民にわかり易く説明してもらいたい(丸亀・男性・18~29歳)。
- ・ メリットよりもデメリットについて慎重に検討して欲しい。現状より不便、不都合とならないようにしてほしい。合併協議会で議論される内容は全て開示してほしい(飯山・男性・50歳代)。

【住民の声をよく聞くこと】

- ・ 市民、町民の意見をよくきいて合併に関する協議をしてほしい(丸亀・女性・18~29歳)。
- ・ 地域の持っている独自性を大切にして行政中心ではなく住民が主体となって動けるシステムを確立して欲しい(綾歌・女性・50歳代)。
- ・ 地域の声を行政に十分反映してほしい(飯山・女性・50歳代)。

【行財政の効率化】

- ・ 市の税源による収入が減る一方で、行財政の効率化、議員数を減らしたり、出来るだけ赤字財政にならないよう、健全な運営をお願いしたい(丸亀市・男性・60歳代)。
- ・ 無駄のない行政を進めて欲しい(飯山・女性・50歳代)。
- ・ 行政の効率化をはかり経費を節減して欲しい。無駄を省く努力をする(丸亀・女性・70歳以上)。

【市の名称】

- ・ 合併後も丸亀市であってほしい。丸亀市の全国的なネームバリューは大きな財産である（丸亀・男性・50歳代）。
- ・ 合併されれば、丸亀市から名前が変わったりするのですか？出来れば小さいころから住んでいるので、変わって欲しくないと思います。（丸亀・男性・18～29歳）
- ・ 新市名は既市・町名でなく、まったく新しい名を希望する。例えば「さぬき富士市」。（飯山・男性・30歳代）

【市役所、町役場の場所】

- ・ 市庁は現在地を希望する（丸亀・男性・60歳代）。
- ・ 高齢者が多いので、遠くまで行かなくても今の役場で出来るようにしてほしい。（綾歌・女性・50歳代）
- ・ 高齢化社会になる為、役所等が遠くなる事はさけてほしいと思う（飯山・男性・50歳代）。

【公共交通機関（コミュニティバスなど）の整備】

- ・ 高齢化に向け、コミュニティバスを隅々まで走らせて欲しい。また、中学、高校の通学に便利なバスが走れば、危険な目にあうことが少なくなる。（丸亀・女性・50歳代）
- ・ 交通機関に力を入れて、便利にしてほしい。丸亀にもいけるように（綾歌・女性・40歳代）。
- ・ 丸亀、綾歌、飯山～買物バスをお願いします。（飯山・女性・70歳以上）

【子供や高齢者にやさしいまちづくり】

- ・ 高齢者の福祉施策の充実した市をお願いします（丸亀・女性・60歳代）。
- ・ 子供から老人までが共生出来るような行政を計画してほしい。老人が基礎体力維持できるよう、指導者と施設を整えてほしい。医療費の軽減につながる（丸亀・男性・50歳代）。
- ・ 子育て支援策を充実させて欲しい（丸亀・女性・18～29歳）。

【税金や公共料金等の負担減】

- ・ 合併によって税金・水道料金等は高くなるのでしょうか？安くなってほしい（丸亀・女性・30歳代）。
- ・ 上下水道など公共料金が合併することにより料金が上がらないようにしてほしい。また、今まで以上にゴミ収集日などが減らないように市民生活の公共サービスの向上が図れるための合併をしてほしい（丸亀・男性・40歳代）。
- ・ 固定資産税の引下げにより生活環境をよくしてほしい（飯山・男性・40歳代）。

【地域のよさを生かしたまちづくり】

- ・ 1市2町の地域的な環境を生かして、自然を生かし、歴史と伝統を重んじ、明るく人に優しい近代的な都市を構築して欲しいと思います（丸亀・男性・70歳以上）。
- ・ 市町村の特色を生かしつつ総合的な行政に期待します（綾歌・女性・40歳代）。
- ・ それぞれのまちの特色を残したまま新市の建設をお願いしたい（飯山・男性・30歳代）。

【商店街の活性化】

- ・ 駅前及び商店街の活性化を強く希望します（丸亀・男性・30歳代）。
- ・ 商店街をもっと賑やかにして欲しい。6時以降あまりに静か過ぎて、歩いていて淋しく思う（丸亀・女性・50歳代）。